

ホームページへの掲載	
2月18日	掲載予定

岐阜県立岐阜高等学校

学校長 折戸 敏仁
学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

- 1 会議の名称 岐阜高等学校学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成

	委員	石田 秀治	岐阜大学応用生物科学部 教授 兼「生命の鎖統合研究センター(G-CHAIN)」センター長
		杉山 文康	杉山建設株式会社 代表取締役社長
		高木 敏彦	岐阜県教育文化財団 理事長
		中村こず枝※	地域住民 医師
		西山光知子※	元PTA副会長 薬剤師 （委員名は五十音順）
	学校側	折戸 敏仁※	校長
		下野 泰輔※	PTA会長
		山本 淳一	事務部長
		片岡 潤子	教頭（司会）
		西谷 徹	教頭（記録）
		高木 雅紀	教務部長
		関谷 篤	進路指導部長
		北川 英治	生徒指導副部長
- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成31年2月4日（月） 13:00～15:00 岐阜高等学校 大会議室
委員3名（2名欠席） と 学校側6人（2名欠席）が出席
※中村こず枝氏、西山光知子氏、折戸敏仁校長、下野泰輔会長は所用のため欠席

5 会議の概要

(1) 学校代表挨拶

本日は、ご多用にもかかわらず、本校の学校評議員にご出席いただき、ありがとうございます。本校は、昨年4月から単位制普通科へと改編いたしました。その取り組みの計画については、前回の会議でもお伝えいたしましたが、「生徒の個別のより高度な学習ニーズや進路希望に応える」ために、多様な学校設定科目の設定、少人数授業の実施や日課の変更等々、学校のシステムを大きく変更しました。特に日課の変更は、生徒・職員とも戸惑うことがあり、部活動では放課後の活動時間が制約を受けることとなりました。しかしながら、硬式野球部は3季連続で県ベスト8になり、21世紀枠として県代表として推薦されました。また、第12回全国模擬国連大会においては、本校チームが審査員特別賞を受賞し、本年5月にアメリカ・ニューヨークで行われる世界大会への参加資格を獲得するなど、多くの部活動で例年以上に成果を上げております。また、3年生は、先月のセンター試験の結果を受け、現在、自己の進路実現のために私大・国公立2次試験に向けて追い込みをかけているところです。

本日は、授業の様子をご覧いただき、その後、今年度の取り組みの成果と課題を各分掌よりご報告いたします。本校の教育をより一層充実したものにしていくために、忌憚のないご意見を賜りたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

(2) 授業見学

1年1組	英語表現 I	(意見交換などのコミュニケーション活動)
2年4組	数学Ⅲ	(積分法・定積分)
2年7組	古典 B	(漢文『史記』司馬 遷)
3年希望者	課題講座 日本史・世界史	(東大・京大他入試問題演習)
3年希望者	課題講座 物理・化学	(国公立大入試問題演習)

(3) 取り組みの成果と課題 (自己評価)

今年度の学校教育計画について (教頭より)

本校が目指す学校教育目標のもと、各分掌が今年度の重点目標を掲げるとともに、具体的な取り組みや方策を推し進めてきた。特に、今年度は単位制初年度であることを鑑み、単位制課程の充実や新教育課程を視野に入れ、全校体制で授業改善に努めることなどを変更点として取り組んできた。この後、生徒及び保護者対象アンケートの分析結果とこの結果を参考に各分掌長から具体的な成果と課題について説明する。

ア 「生徒及び保護者対象アンケート集計結果」について (教務主任より)

- ・学校経営計画 (マニフェスト) の実施に向けて様々な取り組みを行っている。本校の取り組みについて実施した生徒及び保護者対象アンケート結果について、特徴的な項目を取り上げ、その結果の分析と対応策について報告する。

イ 教務部・グレードアップ推進部 (教務主任より)

- ・単位制改編に伴う教育課程の運用や校内規程の見直しなど、各教科・分掌と連携して推し進めた。
- ・授業改善のために年2回の授業公開月間を設け、教員間の授業参観や相互評価、教科会の充実、生徒による評価などにより授業の工夫改善に努めた。次年度は、教育課程の改定に向け、一層の授業改善と学習評価方法の工夫改善が必要。
- ・高大接続、大学入試共通テスト及び英語4技能テストに向けた対策等について引き続き研究する。

ウ 進路指導部・キャリア形成支援部 (進路指導主事より)

- ・1年次生を対象に学習評価、振返りを目的とした **To Do Check** シートを年3回実施した。まだ、研究開発段階であるため見直しを図りながら、有効なものにしていく。
- ・医学部希望者に対して入試ガイダンスを実施し、志望理由や医師という仕事について深化をはかった。
- ・キャリア形成の面から「職業・学問体験プログラム」や「最先端科学体験プログラム」等各種事業を拡充し、生徒が主体的にキャリア設計を意識・行動できるように工夫した。

エ 生徒指導部 (生徒指導主事より)

- ・交通安全の面では重大事故はなかったが、軽微な交通事故は例年並みに発生している。今後とも交通ルールの遵守、交通マナーの指導等を徹底する。
- ・教育相談については、学年と生徒指導部が情報を共有し一貫性のある指導を行った。また、スクールカウンセラーをはじめ外部機関と連携し、より有効な対応に心掛けた。
- ・情報端末の利用方法についてルールやマナーに対する意識の低さが目立つ。家庭と連携して情報モラルを高めていく。

(4) 課題に対する改善状況報告

- ・前回の学校評議委員会で出された意見「危機管理の観点から、外部侵入者対策が必要」について、防犯カメラの視野変更及び監視モニターの設置場所を変更して、以前より侵入者に対するセキュリティ対策は向上した。今年、監視カメラの更新契約時にカメラの増設等を検討する。

(5) 岐阜高生の活躍 (新聞記事より)

- ・昨年8月以降、本校生徒の活躍が掲載された新聞記事の一部を紹介。

意見1 授業を参観して、非常にレベルが高いことに感心した。1人で全てに秀でることは難しいかもしれないが、それぞれを得意とする人材が積極的な連携をもつ「人材群」が形成されれば、非常に有意義だと思う。2年生からは理系と文系に分かれるのでそういう連携が疎遠になりがちだと思うが、部活動などを通して学業上の得意分野を超えた人間関係を構築して欲しい。

→ 部活動で優秀な成果を残した生徒の中には、研究分野と異なる方面に進学した生徒がいた。多様な分野を学ぶことで見識が広がると思う。少しでも多くの分野を学ばせたい。

意見2 多くの人が医学部を志望するのは素晴らしいことだが、イノベーションを起こす人材や、社会制度を設計する人材など、「人材群」が各方面でバランスよく活躍するのが望ましいと思う。

意見3 キャリア教育では、さまざまなプログラムを展開されているとのことだが、具体的にどんな内容が行われているか？

→ 全体で15回ほどの各種プログラムを実施している。理工系だけでなく人文系や法律系など、文系理系を織り交ぜて多種多様なプログラムを展開している。しかし医薬系の参加者が多く、内容によって参加者の多少はある。できるだけ広報して興味がある分野だけでなく、それ以外の分野のプログラムにも参加するよう呼びかけている。

意見4 アンケートで、一人一人の能力に対応した指導を行っているという項目で評価が下がったとの報告があったが、それは理解度の低い生徒が評価値を下げたと思っているのか？

→ どのような生徒が低い評価をしたのかまでは分からないが、まずは平素の授業で「分かる授業」を行わないといけない。中学校に比べて格段に難しい内容を取り扱っているのは事実である。どのレベルの生徒でも、学力を上げるだけでなく、授業が分かることに対する達成感や満足度が高まれば評価値が高くなるのではないかと思う。

意見5 今日の授業はいずれも難易度が高いレベルであったと思うが、理解度に合わせて生徒に対応できないか？

→ 平常授業でも、文系数学や理系古典などは分割して少人数・習熟度別授業を行っている。また、理系の物理・生物選択者は2クラスを3分割して極め細やかな指導を行っている。

意見6 一人一人の生徒に対応した丁寧な指導を行っているとのこと。先生方は授業や部活動等に懸命に取り組まれると思うが、どのように業務バランスを取っているのか？

→ 最近、勤務時間の管理が徹底されてきている。管理職による業務管理だけでなく、教師一人一人の業務管理が問われている。しかし、目の前の生徒の希望や願いを叶えるためには、勤務時間を忘れて対応することは多々ある。職員集団として対応する等で業務バランスを保つことができないかと思う。

→ 教師になった以上、生徒と関わりたいと思う。質問に来る生徒がいれば理解できるまで対応する。結果的にオーバーワークになっていることも多々ある。

→ 突発的な事案が発生すると、遅くまで対応せざるを得ない。また、授業が第一で、その準備に手は抜けない。仕事を家に持ち帰ることが多くなるが止むを得ない。ただ、自分だけでなく、周りにもそうしている教員がいるので苦労とは感じていない。

→ 以前に比べて、学力が上位の生徒だけでなく、どの生徒にも丁寧に対応するようになっている。手厚く指導すれば必然的に勤務時間も増える。

意見7 高校生同士や学校間の競争は生徒の意識や力の向上に繋がると思いますが、もっと高いレベル、例えば県展などの一般人の大会に参加することでより一層磨かれるのではないかと？本物を見ることは大切である。

→ 美術の授業で、熊谷守一氏の絵画を借用して校内に展示した。

→ 一般の学会にも参加している生徒がいる。生徒だけでなく教員も刺激になる。

→ 高文連や高体連以外の大会にも積極的に参加し、成果を上げている。

6 会議のまとめと謝辞

本日は、皆様からは本校の教育活動に対し、様々な視点からご意見を賜りました。今年度、岐阜高校が単位制に改編したとはいえ、全学年が完全に移行するまでには、まだ2年以上の時間が必要です。その中には解決するのに時間と労力が必要な課題もありますが、生徒の自己実現に向けて職員一同尽力いたします。本日いただいた意見をもとに、さらなる教育活動の改善に取り組み、次年度以降の学校経営に努めてまいります。今後ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

7 諸連絡

本日いただいたご意見は、議事録として後日お送りいたしますので、内容をご確認いただければと思います。本日はありがとうございました。